

令和 7 年度の取組事例

事項	取組記号 ☆：実施予定=R8以降実施する予定の取組 ★：新規実施=R7に新たに実施した取組 ○：継続実施=R6以前から実施しており、今後も継続して実施していく取組（例：防災教育、水防訓練、広報活動など） ◎：拡大実施=R6以前から実施しており、今後も範囲を拡大して実施していく取組（例：まるごとまちごとハザードマップなど） △：協力=他機関が主体となる取組を補助・協力する取組 レ：実施完了=実施が完了した取組 ー：対象外=実施対象外の取組 ◆：脱却=実施予定だったが、今後実施する見込みがなくなった取組	担当する7評価指標 1：戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込） 2：農地・農業用施設の活用 3：流出抑制対策の実施 4：山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策 5：立地適正化計画における防災指針の作成 6：避難のためのハザード情報の整備 7：高齢者等避難の実効性の確保	相当する7評価指標	取組機関																																
				三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			水資源機構		森林研究・整備機構		国							鉄道会社			日本防災士会						
				津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村※	三重県	京都府	奈良県	理所	木津川ダム総合管	近畿北陸整備局	森林整備センター	津地方気象台	奈良地方気象台	事務所	淀川ダム統合管理	務所	木津川上流河川事	所	紀伊山系砂防事務	興部農政局農村振	東海農政局農村振	式会社	西日本旅客鉄道株	会社	近畿日本鉄道株式	伊賀鉄道株式会社	三重県支部※	京都府支部※
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策																																				
R1:洪水氾濫対策																																				
・河川改修	築堤・護岸工,河道掘削,河道拡幅,バイパス水路整備,堤防補強（堤防天端の保護、裏法尻の補強）,遊水地整備,橋梁架替,堰改築,災害復旧（河川）	1	-	-	-	-	-	☆	-	-	☆○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・河川の適正な維持管理	樹木伐採,河道の維持掘削、浚渫,許可工作物の点検、巡視の実施及び占有者への適正な運用の指導,橋梁点検に基づく維持管理,土砂堆積状況等の把握	1	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
・河川管理施設の長寿命化	排水ポンプオーバーホール等	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・土砂のストックヤード整備	河川沿いストックヤードの整備	1	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・防災拠点の整備、重要施設の移転	防災拠点の整備、重要施設の移転の検討,防災拠点の整備、重要施設の移転	1	-	-	-	-	☆	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・浚渫工事における河床堆積土砂の受け入れ	浚渫土砂の受け入れ先確保	1	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R2:内水氾濫対策																																				
・下水道（雨水）管渠の整備※	雨水管理総合計画に基づく計画的な下水道施設の整備,既存ストックの活用・機能保全強化	3	-	-	-	-	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・下水道等の排水施設の整備、雨水ポンプ増強※	排水ポンプ施設の設置,排水路の整備,可動式排水ポンプの導入	3	-	-	-	-	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・排水施設の耐水化※	施設の耐水化計画の策定,排水施設の耐水化	3	-	☆	-	-	☆	☆	☆	☆○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・下水道吐口の耐震化	下水道吐口の耐震化計画の策定,下水道吐口の耐震化の整備	3	-	-	-	-	☆	☆	☆	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・雨水公共下水道事業の整備	公共下水道事業耐水化の整備	3	-	-	-	-	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・下水道の機能高度化	下水道の機能高度化	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R3:土砂災害対策																																				
・砂防事業	砂防堰堤,山腹工,床固工	4	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難路、避難場所の安全対策の強化	急傾斜地崩壊対策施設の整備,地すべり防止施設の整備	4	-	-	-	-	☆	☆	-	☆	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・治山事業	谷止工,山腹工,床固工,流木・土砂の流出抑制対策,災害復旧（治山）	4	-	-	-	○	-	-	-	-	○	レ	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R4:流水の貯留機能の拡大																																				
・ダム建設	川上ダム建設	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・既設ダムの機能維持	既設ダムの堆砂除去	3	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・貯留施設の低水管理や事前放流	ダムの低水管理や事前放流	3	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・利水ダムにおける事前放流の実施、体制構築	事前放流の操作規則・実施体制構築,ダムの事前放流の実施,予測精度の向上,放流施設の改良	3	-	-	-	☆	-	△	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・効果的な事前放流や統合作業の実施	予測精度の向上,放流施設の改良	3	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※：R6年度回答より

事項	取組記号 ☆：実施予定=R8以降実施する予定の取組 ★：新規実施=R7に新たに実施した取組 ○：継続実施=R6以前から実施しており、今後も継続して実施していく取組（例：防災教育、水防訓練、広報活動など） ◎：拡大実施=R6以前から実施しており、今後も範囲を拡大して実施していく取組（例：まるごとまちごとハザードマップなど） △：協力=他機関が主体となる取組を補助・協力する取組 レ：実施完了=実施が完了した取組 ー：対象外=実施対象外の取組 ◆：脱却=実施予定だったが、今後実施する見込みがなくなった取組	担当する7評価指標 1：戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込） 2：農地・農業用施設の活用 3：流出抑制対策の実施 4：山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策 5：立地適正化計画における防災指針の作成 6：避難のためのハザード情報の整備 7：高齢者等避難の実効性の確保	相当する7評価指標	取組機関																															
				三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			水資源機構		森林研究・整備機構		国										鉄道会社			日本防災士会		
				津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村※	三重県	京都府	奈良県	理所	木津川ダム総合管	近畿北陸整備局	森林整備センター	津地方気象台	奈良地方気象台	事務所	淀川ダム統合管理	木津川上流河川事務所	紀伊山系砂防事務所	近畿農政局農村振興部	東海農政局農村振興部	国土交通省	西日本旅客鉄道株式会社	近畿日本鉄道株式会社	伊賀鉄道株式会社	三重県支部※	京都府支部※	奈良県防災士会	特定非営利活動法人
R5:流域の雨水貯留機能の向上																																			
・雨水貯留施設の整備	雨水貯留施設の整備,各戸貯留の促進	3	-	-	-	-	-	☆	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
・田んぼダムの整備	田んぼダムに関する調査,農業関係者対象の田んぼダム説明会の開催,田んぼダムの整備	2	-	○	○	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・流出抑制施設の整備	透水性舗装（車道・歩道・駐車場など）の採用,雨水浸透ますの整備,公園緑地の整備	3	-	-	-	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・開発行為に伴う調整池の設置	調整池整備の検討,調整池の設置,都市計画法及び森林法の開発許可に伴う調整池設置の指導,既存調整池設置の維持管理	3	-	-	-	-	☆○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・ため池の治水利用	ため池の治水活用検討,ため池の改修,ため池の事前放流,ため池の浚渫	2	-	○	-	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・農業用排水路の治水利用	農業用排水路の治水活用検討,農業用排水路の改修	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・森林の整備・保全	間伐等の森林整備の検討,間伐等の森林整備	4	-	○	-	○	-	-	★	☆	○	○	△	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
被害対象を減少させるための対策																																			
R6:水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫																																			
・浸水被害軽減地区、災害危険区域の検討	浸水被害軽減地区の指定	5	-	-	-	☆	-	☆	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・土砂災害警戒区域等の指定	土砂災害警戒区域等の指定	4	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・土地利用規制・誘導（災害危険区域の指定等）	災害危険区域の指定	5	-	-	-	☆	-	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・災害危険区域や建築制限の指定を受けた区域の整備（立地適正化計画策定事業、土地区画整理事業等）	立地適正化計画の策定	5	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・土地区画整備事業（宅地高上げ）	宅地高上げの検討・実施	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・二線堤、輪中堤整備・保全	二線堤、輪中堤の整備・保全	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・道路盛土を活用した緊急避難場所整備	道路盛土を活用した緊急避難場所整備	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・円滑かつ迅速な避難に資する施設のハード整備	円滑かつ迅速な避難に資する施設のハード整備	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・下水道計画、都市計画変更	下水道計画、都市計画変更に向けた検討・調整	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
・特定都市河川の指定	流域水害対策計画策定	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

※：R6年度回答より

事項	取組記号 ☆：実施予定=R8以降実施する予定の取組 ★：新規実施=R7に新たに実施した取組 ○：継続実施=R6以前から実施しており、今後も継続して実施していく取組（例：防災教育、水防訓練、広報活動など） ◎：拡大実施=R6以前から実施しており、今後も範囲を拡大して実施していく取組（例：まるごとまちごとハザードマップなど） △：協力=他機関が主体となる取組を補助・協力する取組 レ：実施完了=実施が完了した取組 ー：対象外=実施対象外の取組 ◆：脱却=実施予定だったが、今後実施する見込みがなくなった取組	担当する7評価指標 1：戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込） 2：農地・農業用施設の活用 3：流出抑制対策の実施 4：山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策 5：立地適正化計画における防災指針の作成 6：避難のためのハザード情報の整備 7：高齢者等避難の実効性の確保	相当する7評価指標	取組機関																													
				三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			水資源機構		森林研究・整備機構		国							鉄道会社			日本防災士会			
				津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村※	三重県	京都府	奈良県	理所	木津川ダム総合管	近畿北陸整備局	森林整備センター	津地方気象台	奈良地方気象台	事務所	淀川ダム統合管理	務所	川上流河川事	所紀伊山系砂防事務	興部農政局農村振	東海農政局農村振	式会社	西日本旅客鉄道株	近畿日本鉄道株式	伊賀鉄道株式会社	三重県支部※
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策																																	
R7:土地の水災害リスク情報の充実																																	
・地形改変等のあった箇所について基礎調査を実施	基礎調査の実施	5	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・水害リスク情報の空白域の解消	水害リスク情報の空白域の解消	6	-	-	-	-	○	-	-	レ	レ	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・水害リスクの周知	SNSを活用した水位等の水害リスクの周知,水害リスクマップの作成・周知,内外水リスクマップの作成・周知	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・ハザードマップの改良、周知、活用	洪水ハザードマップの改良、周知,土砂災害ハザードマップの改良、周知,ハザードマップの防災教育への活用	6	-	レ	○	○	☆	☆★	☆○	○	○	-	-	○△	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・広域避難計画等を反映した洪水ハザードマップの作成・周知	広域避難計画等を反映した洪水ハザードマップの作成、周知	6	-	-	-	○	☆	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・内水ハザードマップの策定・周知	内水ハザードマップの作成、周知	6	-	-	レ	☆	☆	○	☆	☆	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・ため池ハザードマップの整備	ため池ハザードマップの整備	6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・まるごとまちごとハザードマップの整備	まるごとまちごとハザードマップの検討,まるごとまちごとハザードマップの整備	6	-	◆	-	★◎	★	☆	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・水位計・簡易カメラ・浸水センサー等の拡充・閲覧周知	設備（水位計・簡易カメラ・浸水センサー等）の設置検討,設備（水位計・簡易カメラ・浸水センサー等）の設置、更新	6	-	-	-	○	-	☆	☆	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・降雨予測や避難情報の提供の強化、洪水予測や水位情報の提供の強化	防災気象情報等をテレビ会議で自治体向けに提供	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・流域治水の取組・効果の見える化	全国流域治水MAPへの掲載	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R8:あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供																																	
・小中学校等における水災害教育の実施	小中学校への出前講座の実施	6	-	○	○	△	☆	○	○	☆	-	-	-	○	△	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・防災教育に関する素材提供	防災教育に関する素材提供	6	-	○	-	△	-	○	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	ポータルサイトの構築	6	-	-	○	○	○	○	☆	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・わかりやすい洪水予報文の改良と運用	わかりやすい洪水予報文の改良と運用	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を実施	スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を実施	6	-	-	○	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線の普及（無線のデジタル化等）	防災行政無線の普及（無線のデジタル化等）	6	-	レ	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・緊急放送をよりわかりやすく伝えるため、放送のあり方等の検討（危険度の色分け表示）	防災行政無線放送のあり方等の検討（危険度の色分け表示）	6	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・ダム防災操作や放流連絡体制の周知（地域住民へ避難の必要性やダム警報局スピーカーの周知）	ダムの防災操作や放流連絡体制の周知	6	-	-	○	☆	☆	○	☆	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・土砂災害警戒情報の発表	土砂災害警戒情報の発表	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	△	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・システム等による危険度情報の発信	土砂災害情報提供システムの高度化及び防災情報の充実	4	-	-	-	☆	○	○	☆	-	☆	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・水害履歴の情報発信	公式HP（防災情報ページ）への掲載による啓発促進,水害伝承に関する情報（コンテンツ）の普及・拡大	6	-	-	-	○	-	☆	-	☆	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
防災・減災ビジネスの推進（オープンデータ活用）	防災・減災ビジネスの推進（オープンデータ活用）	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※：R6年度回答より

事項	取組記号 ☆：実施予定=R8以降実施する予定の取組 ★：新規実施=R7に新たに実施した取組 ○：継続実施=R6以前から実施しており、今後も継続して実施していく取組（例：防災教育、水防訓練、広報活動など） ◎：拡大実施=R6以前から実施しており、今後も範囲を拡大して実施していく取組（例：まるごとまちごとハザードマップなど） △：協力=他機関が主体となる取組を補助・協力する取組 レ：実施完了=実施が完了した取組 ー：対象外=実施対象外の取組 ◆：脱却=実施予定だったが、今後実施する見込みがなくなった取組	担当する7評価指標 1：戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込） 2：農地・農業用施設の活用 3：流出抑制対策の実施 4：山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策 5：立地適正化計画における防災指針の作成 6：避難のためのハザード情報の整備 7：高齢者等避難の実効性の確保	相当する7評価指標	取組機関																														
				三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			水資源機構		森林研究・整備機構		国							鉄道会社			日本防災士会				
				津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曾爾村	御杖村※	三重県	京都府	奈良県	理所	木津川ダム総合管	近畿北陸整備局	森林整備センター	津地方気象台	奈良地方気象台	事務所	淀川ダム統合管理	務所	川上流河川事	紀伊山系砂防事務	近畿農政局農村振	東海農政局農村振	式会社	西日本旅客鉄道株	会社	近畿日本鉄道株式	伊賀鉄道株式会社	三重県支部※
R9:避難体制等の強化																																		
・避難勧告に着目したタイムラインの策定	タイムラインの策定・精度向上の検討	6	-	○	○	○	○	★	☆	○	○	レ	○	△	-	-	△	△	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・タイムラインの作成（土砂災害）	タイムラインの作成（土砂災害）	6	-	レ	-	○	○	○	☆	○	○	△	-	△	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
・多機関連携型タイムラインの拡充	多機関連携タイムラインの策定	6	-	◆	-	☆	-	○	☆	☆	☆	-	-	-	-	-	△	△	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・マイ・タイムラインの作成	マイ・タイムライン作成支援のワークショップの開催	6	-	レ	○	☆	☆	○	☆	☆	☆	-	-	△	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
・広域避難計画の策定	広域避難計画の策定	6	-	-	-	○	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・水災害のBCP（事業継続計画）を作成	水災害のBCP（事業継続計画）を作成	6	-	☆	○	○	-	○	☆	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
・土砂災害に対するBCP（事業継続計画）を作成	土砂災害に対するBCP（事業継続計画）を作成	4	-	☆	△	○	○	○	☆	☆	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・地域防災計画への反映	地域防災計画への反映(土砂災害)	6	-	○	○	○	○	☆	○	○	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・地区防災計画（自治会単位）の作成	地区防災計画（自治会単位）の作成	6	-	○	△	○	☆	☆	☆	☆	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
・広域避難を踏まえた避難指示等の発令基準の見直し	発令基準見直しの検討（洪水）、発令基準見直しの検討（土砂災害）	6	-	-	○	☆	○	○	☆	○	○	△	○	△	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進	対象施設への避難計画作成支援説明会・講習会の開催、市町担当者向けに避難確保計画の意見交換会等を実施、避難訓練の実施	7	-	○	○	○	-	○	☆	○	-	○	○	○	-	-	△	○	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難場所並びに避難経路の指定更新及び周知	避難場所並びに避難経路の指定更新及び周知	6	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難行動要支援者の避難支援体制の整備	避難支援体制の整備	6	-	○	★	○	☆	○	☆	☆	☆	-	-	-	-	-	○	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・住民参加型の避難訓練の実施状況、今後の予定等の共有	住民参加型の避難訓練の実施	6	-	-	△	☆	☆	○	○	○	-	-	△	△	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難指示等の判断・伝達マニュアルの整備	マニュアルの検討、作成	6	-	○	-	-	-	○	☆	○	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・避難所における感染症対策	避難所における感染症対策	6	-	レ	○	☆	○	○	☆	☆	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・水防団、消防団や地域住民が参加する水害、土砂災害リスクの高い箇所の共同点検	共同点検の実施（洪水）、共同点検の実施（土砂災害）	6	-	-	○	△	○	☆	○	☆	○	-	-	★	△	○	-	△	△	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・土砂災害防止月間（6月）等における広報活動、防災訓練を実施	広報活動の実施、防災訓練の実施	6	-	○	△	○	○	○	○	○	☆	○	-	○	△	-	-	△	○	△	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
・円滑な避難を支援する人材育成（ファシリテーター派遣の仕組み）	防災リーダー育成の支援を実施	6	-	-	○	○	☆	★	☆	☆	○	-	-	△	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
・水防活動の担い手となる水防団員や水防協力団体の募集・指定の促進	公式HPや自治体広報紙等による水防団員・協力団体の募集	6	-	○	○	○	☆	○	-	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気候変動リスク開示における民間企業の取り組みの支援（TCFD）	気候変動リスク開示における民間企業の取り組みの支援（TCFD）	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※：R6年度回答より

事項	取組記号 ☆：実施予定=R8以降実施する予定の取組 ★：新規実施=R7に新たに実施した取組 ○：継続実施=R6以前から実施しており、今後も継続して実施していく取組（例：防災教育、水防訓練、広報活動など） ◎：拡大実施=R6以前から実施しており、今後も範囲を拡大して実施していく取組（例：まるごとまちごとハザードマップなど） △：協力=他機関が主体となる取組を補助・協力する取組 レ：実施完了=実施が完了した取組 -：対象外=実施対象外の取組 ◆：脱却=実施予定だったが、今後実施する見込みがなくなった取組	担当する7評価指標 1：戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込） 2：農地・農業用施設の活用 3：流出抑制対策の実施 4：山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策 5：立地適正化計画における防災指針の作成 6：避難のためのハザード情報の整備 7：高齢者等避難の実効性の確保	相当する7評価指標	取組機関																															
				三重・京都圏域ブロック					奈良圏域ブロック				府県			水資源機構		森林研究・整備機構		国										鉄道会社			日本防災士会		
				津市	名張市	伊賀市	笠置町	南山城村	宇陀市	山添村	曽爾村	御杖村※	三重県	京都府	奈良県	理所	木津川ダム総合管	近畿北陸整備局	森林整備センター	津地方気象台	奈良地方気象台	事務所	淀川ダム統合管理	木津川上流河川事務所	紀伊山系砂防事務所	興部農政局農村振	東海農政局農村振	式会社	西日本旅客鉄道株	近畿日本鉄道株式	伊賀鉄道株式会社	三重県支部※	京都府支部※	奈良県防災士会	特定非営利活動法人
R10:関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化																																			
・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	水防訓練の実施		6	-	○	○	○	☆	△	-	☆	-	-	-	☆	△	-	△	△	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-					
・関係機関が連携した情報伝達訓練の実施	関係機関が連携した情報伝達訓練の実施		6	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	△	-	-	-	△	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施	水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施		6	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・排水施設情報の共有・排水手法等の検討、大規模水害を想定した木津川上流域排水計画(案)の作成	大規模水害に対する排水方法、排水計画の作成	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レ	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施	排水ポンプ車出動要請等に関する連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施	その他		-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	レ	-	-	-	-	-	-	-	-					
・復旧・復興を支える人材や資機材の確保（水防資機材等の配備）	復旧・復興を支える人材や資機材の確保（水防資機材等の配備）	その他		-	-	○	-	-	○	○	○	☆	-	-	△	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・災害時応急復旧資機材の整備	マンホールトイレ、可搬式非常用発電施設、仮設配管等の整備	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・複合災害を対象とした被害想定等の検討を行い、複合災害の被害想定等を対象とした取組を推進	複合災害の被害想定等を対象とした取組を推進		1,4	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	△	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-					
・土砂災害・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所などについて検討及び情報共有	緊急性が高い箇所などについて検討及び情報共有		1,4	-	-	-	-	○	-	☆	☆	○	-	-	○	-	-	△	△	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-					
・砂防堰堤、遊砂地等の整備と河川改修等が連携した効率的な対策を実施すべき箇所について検討	砂防堰堤、遊砂地等の整備と河川改修等が連携した効率的な対策を実施すべき箇所について検討		1,4	-	-	-	-	-	-	☆	☆	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-					
グリーンインフラに対する取り組み																																			
R11:自然環境の保全・復元などの自然再生																																			
・自然環境の保全・復元などの自然再生	縦横断連続性の再生,自然環境の保全・復元などの自然再生	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
R12:健全な水循環系の回復																																			
・健全な水循環系の回復	健全な水循環系の回復	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
R13:生態系ネットワークの形成																																			
・生態系ネットワークの形成	生態系ネットワークの形成	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
R14:多自然川づくり																																			
・生物の多様な生息・生育環境の保全創出	生物の多様な生息・生育環境の保全創出	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・防災と生態系が両立した河道掘削	防災と生態系が両立した河道掘削	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・水害防備林や樹林帯など樹木が有する洪水流勢緩和や生態系・景観形成機能等を両立した樹木管理	樹木が有する洪水流勢緩和や生態系・景観形成機能等を両立した樹木管理	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
R15:魅力ある水辺空間・賑わい創出																																			
・インフラツーリズムとの連携	啓発イベントの実施	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・河川空間の利活用を通じた意識醸成	かわまちづくり	その他		-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
R16:自然環境が有する多様な機能活用の取り組み																																			
・環境学習関係	環境学習関係	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
・民間活力による河川環境保全及び地域活性化への支援	民間活力による河川環境保全及び地域活性化への支援,クリーンキャンペーンの実施	その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

■各取組の進捗状況

取組項目	進捗率
1. ハード対策の主な取組	
①洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項	79%
②危機管理型ハード対策に関する事項	100%
③内水対策に関する事項	50%
④避難行動、水防活動に資する基盤等の整備	33%
⑤流出抑制に関する事項（洪水、土砂、流木）	73%
2. ソフト対策の主な取組（①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組）	
①情報伝達、避難計画等に関する事項	65%
②平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	69%
③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	93%
3. ソフト対策の主な取組（②氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組）	
①水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	77%
4. ソフト対策の主な取組（③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための取組）	
①排水活動及び施設運用の強化に関する事項	73%
②土地利用に関する事項	0%
5. 土砂災害に対するハード対策に関する取組	
①防災施設の整備等	57%
6. 土砂災害に対するソフト対策に関する取組	
①土砂災害防止法に基づく事項	87%
②土砂災害に対する情報伝達、避難計画等に関する事項	76%
③土砂による被害の軽減、避難時間の確保のための防災活動の取組に関する事項	69%
④一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための復旧活動の取組に関する事項	57%
7. 複合災害に対するソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 など	
①複合災害に対する情報伝達、避難計画等に関する事項	69%

目次

伊賀市	1	津地方气象台、 奈良地方气象台	19
名張市	2		
笠置町	3	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター近畿北陸整備局	20
山添村	4		
宇陀市	5	伊賀鉄道株式会社	21
曾爾村	6		
三重県	7	国土交通省近畿地方整備局 木津川上流河川事務所	23
京都府	11		
奈良県	15	国土交通省近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所	28
水資源機構関西支社 木津川ダム総合管理所	16	特定非営利活動法人 奈良県防災士会	30

R7取組事例 (伊賀市)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:伊賀市】

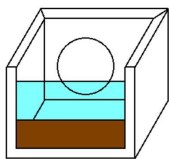
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔 田んぼダムの整備 〕

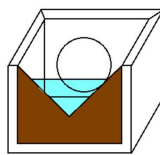
【主な整備内容】

水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板を設置することで、雨水貯留能力を人為的に高め、大雨時に水路や河川の水位の急上昇を抑えることで、下流域の湛水被害リスクの低減を図る。
令和6年度から3組織が実施。

通常の落水口
そのまま河川に流れる。



排水調整板を設置
流出量を抑制できる。



取組状況の様子



参考



実施主体
担当部署

農村整備課

R7年度
田んぼダム進捗状況:○
22ha実施見込

取組概要

水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板を設置をおこなう。

取組内容の工夫点・課題・留意点

課題として排水調整板を設置し雨水貯留量が増えることにより、畦畔崩落の被害の恐れがあるため、取り組み組織が少なく田んぼダムの効果が高まらない。

取組による効果

大雨時に水路や河川の水位の急上昇を抑えることで、下流域の湛水被害リスクの低減が図れる。

活用可能な制度等

多面的機能支払交付金事業の加算措置「水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)を推進活動」

1期目 10a当:400円の加算
2期目以降 10a当:300円の加算

R7取組事例 (名張市)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:名張市】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
(小中学校への出前講座の実施)

『名張市総合防災訓練(地域訓練)において市内全小中学校と連携した訓練を実施』

【実施状況】

日時 令和7年11月15日(土) 午前9時から
場所 市内全域
参加者 約14,000人



実施主体
担当部署

名張市
なばりの未来創造部
危機管理室

R7年度
進捗状況:○

取組概要

名張市総合防災訓練に市内全ての小中学生が参加しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

教育委員会と連携することで、市内全ての小中学校の協力を得ることができました。また、子どもが訓練に参加することで保護者の参加も誘導することができました。

取組による効果

児童・生徒が避難所運営の企画・運営に参画することで、「自らの安全確保を前提に地域に貢献する」行動観が醸成。持続可能な防災体制の基盤を強化することができました。

活用可能な制度等

なし

R7取組事例 (笠置町)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:笠置町】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
〔 防災訓練の実施 〕

『町内の自主防災組織と町の共催による防災訓練の実施』



初期消火訓練



防災組織醸成訓練

実施主体 担当部署	笠置町総務財政課	R7年度 進捗状況:○
--------------	----------	----------------

取組概要

自主防災組織の防災力向上と防災関係機関との連携醸成を主な目的として、町との共催による防災訓練を実施。

- ・初期消火訓練
- ・防災組織醸成訓練 など

取組内容の工夫点・課題・留意点

消防機関や郵便局の協力を得て、実際に防災資機材を駆使した火災や土砂災害等を想定した訓練をおこなうことで、知識の醸成、技術力向上、関係機関との連携強化を図る。

取組による効果

地域全体の防災意識向上に繋がる。

活用可能な制度等

特になし。

R7取組事例 (山添村)

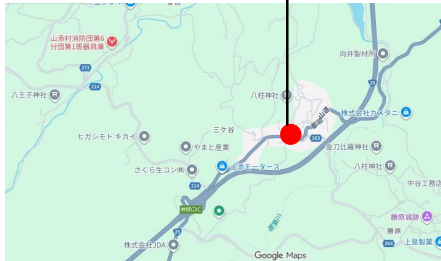
■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:山添村】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
(防災訓練の実施)

『関係機関や消防署、山添村消防団、日本赤十字社と共同で地区防災訓練を実施』

【実施状況】

開催場所
山添村大字三ヶ谷
豊中央公民館



実施主体
担当部署

山添村、山添消防署、
自衛隊、山添村消防
団、日本赤十字奉仕
団山添分会

R7年度
進捗状況:○

取組概要

大雨や地震を想定し、避難所までの避難訓練を実施。また、避難所ではAED講習や消火器訓練、土砂災害体験(VR)、日本赤十字奉仕団による炊き出し訓練を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

地域を分けて年1回開催。今年度は、自衛隊の参加、VR体験、消防署や赤十字社との協力を得て、訓練を行った。

取組による効果

地域住民による防災意識の向上や関心をつかむ訓練となった。

活用可能な制度等

なし。

R7取組事例 (曾爾村)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:曾爾村】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
〔住民参加型の避難訓練の実施〕

『村民参加型の避難訓練を実施』

【実施状況】



避難訓練の様子



段ボールベット組み立て講習の様子



土のう作製、土のう積みの様子



実施主体 担当部署	曾爾村総務課	R7年度 進捗状況:○
--------------	--------	----------------

取組概要

第1部として地震による建物の倒壊、土砂災害、水害を想定し、最寄りの指定避難所まで避難を行いました。

第2部は、役場職員による段ボールベットの組み立て講習を村民を対象に実施。また、曾爾村消防団員による土のう作製及び積み方を自主防災組織向けに訓練を実施しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

避難訓練チラシを全戸に配布を行うとともに、各自治会を通じて村民への周知を行い、訓練周知を実施しました。また、第1部の避難訓練では要支援者宅へ訪問し、安否確認も実施。

取組による効果

村民一人ひとりの防火意識の向上に努めることができた。またより具体的な訓練を行うことにより、地域防災力の向上に寄与することができた。

活用可能な制度等

特になし

R7取組事例 (三重県)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川改修

①築堤・護岸工 ②河道掘削 ③河道拡幅

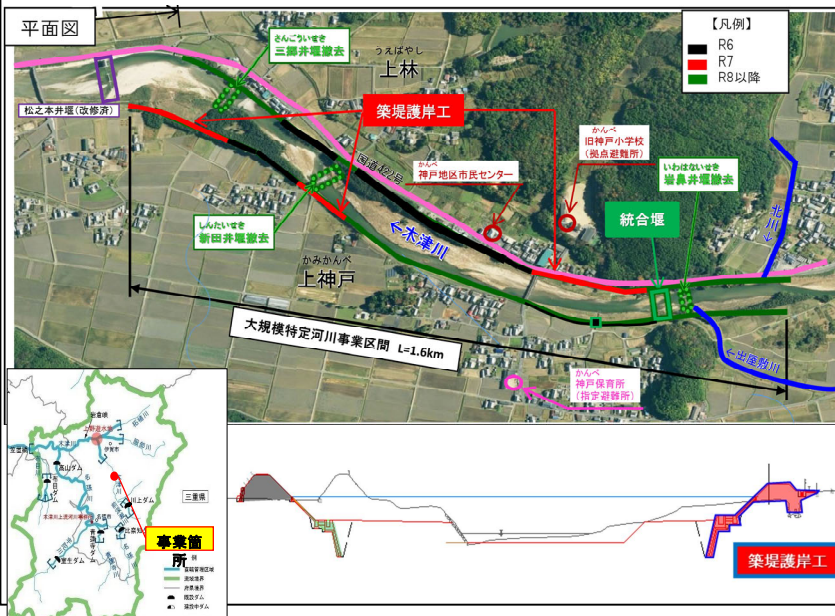
『木津川(指定区間)大規模特定河川事業』

【主な整備内容】

木津川大規模特定河川事業

令和7年度の実施内容

○築堤護岸工



実施主体
担当部署

三重県県土整備部
河川課
伊賀建設事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

木津川(指定区間)沿川における浸水被害の軽減を図るため、河道拡幅、河道掘削等により流下能力の向上を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

井堰等、既存の横断構造物の改築が必要となる。

取組による効果

上野遊水地事業及び川上ダム整備事業と上下流一体となった整備により、流域全体の治水安全度の向上と、流域住民の安全安心を確保する。

活用可能な制度等

—

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川の適正な維持管理
①河道の維持掘削、浚渫
『河道の堆積土砂撤去事業』

【主な整備内容】

令和7年度の実施内容

○堆積土砂撤去

一級河川木津川他25川

(赤川、小山川、滝川、山の田川、河合川、丸柱川、鞆田川、野田川、比自岐川、御代川、矢田川、青山川、柘植川、矢谷川、大谷川、宮谷川、服部川、愛田川、倉部川、平野川、折戸川、小波田川、久米川、砂川、湯舟谷川)



施工前



施工後



一級河川比自岐川

実施主体
担当部署

三重県土整備部
河川課
伊賀建設事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

河道内に経年的に堆積した土砂により、低下している流下能力を回復するため、河道の堆積土砂撤去を実施する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

河道の堆積土砂を撤去することにより、河川の流下能力を回復し、流域内の治水安全度が向上する。

活用可能な制度等

—

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・砂防事業
砂防堰堤
『砂防堰堤の整備』

【主な整備内容】

石谷の1県単通常砂防事業(伊賀市中村地内)



保全対象:人家、耕地、道路等

施工状況(R7.11月時点)



実施主体
担当部署

三重県土整備部
防災砂防課
伊賀建設事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

土石流による土砂災害から下流部に存在する人家、耕地、公共施設等を守ることを主たる目的として、砂防堰堤、床固等の砂防設備の整備を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

水災害の激甚化や発生頻度の増加などの事象を想定し、土石流対策を進めていく。

取組による効果

砂防堰堤等を整備することにより、人家、耕地及び道路に対する土砂災害の被害を軽減させる。

活用可能な制度等

—

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・森林の整備・保全
間伐等の森林整備

【主な整備内容】

○保安林総合改良事業



【施工前】



【施工後】

実施主体 担当部署	三重県農林水産部 伊賀農林事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	---------------------	----------------

取組概要

・手入れ不足等により過密状態となった荒廃森林において、森林整備を実施することで、森林の機能を回復し、下方人家等の保全を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

・間伐木を等高線方向に並べることで、降雨等により土壌の表面流出を抑制している。

取組による効果

・森林整備を実施することで樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、降雨等に伴う土壌流出を抑制する。

活用可能な制度等

—

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び避難訓練の促進
対象施設への避難計画作成支援説明会・講習会の開催
市町担当者向けに避難確保計画の意見交換会等を実施

市町担当者への説明・意見交換



実施主体 担当部署	三重県県土整備部 施設災害対策課 防災砂防課	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------------------------	----------------

取組概要

市町担当者に対して、避難確保計画の説明を行うとともに、意見交換会を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

避難確保計画の作成や訓練の実施が進まない場合は、その要因に応じた助言等を実施していく。

取組による効果

施設管理者へ助言を行う市町担当者へ避難確保計画の重要性を理解していただき、計画作成及び訓練実施の進捗を図る。

活用可能な制度等

—

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土砂災害警戒情報の発表
 - ・土砂災害警戒区域等の指定
- 『土砂災害情報提供システムの更新、運用』

土砂災害警戒情報の発表



土砂災害情報提供システムの更新、運用



システム周知ポスター



実施主体
担当部署

三重県県土整備部
防災砂防課

R7年度
進捗状況:○

取組概要

三重県と津地方気象台は共同で、大雨で土砂災害発生の危険性が高まった時に土砂災害警戒情報を発表。

地域住民の避難行動や市町による避難指示等の発令を適時・適切に行っていただけるよう、「三重県土砂災害情報提供システム」を運用。

取組内容の工夫点・課題・留意点

令和7年度も二次元コードを掲載したポスターを配布し、システムに関する広報活動を行った。

取組による効果

昨年度に比べ「土砂災害情報提供システム」のアクセス数は約2.0倍に増加。

活用可能な制度等

—

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 設備(水位計・簡易カメラ・浸水センサー等)の設置、更新
- 『危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置』



令和7年度の実施内容

- 簡易型河川監視カメラの設置
(柘植川、矢谷川、小波田川、浅子川)

■河川状況をリアルタイムで提供



(写真:一級河川久米川)

■危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置状況(淀川水系)

	R5まで	R6	R7以降
危機管理型水位計	36箇所	—	—
簡易型河川監視カメラ	7箇所	2箇所	4箇所

実施主体
担当部署

三重県県土整備部
河川課

R7年度
進捗状況:○

取組概要

三重県の河川DX中期計画(2022~2026)に基づき、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラを拡充し、リアルタイムの河川情報を提供する。

取組内容の工夫点・課題・留意点

—

取組による効果

洪水時には、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラにより切迫感のある情報をリアルタイムで提供することにより、水防活動や住民の適切な避難行動を促す。

活用可能な制度等

—

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:三重県】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・土砂災害防止月間(6月)等における広報活動を実施

広報活動の実施

『県広報誌による周知』『県公報番組(テレビ・ラジオ)による周知』

県広報誌



県立図書館及び県民ホールでの展示



実施主体 担当部署	三重県土整備部 防災砂防課	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------------	----------------

取組概要
土砂災害や土砂災害警戒区域等に関する県民の意識を向上させるため、県公報番組(ラジオ)での広報活動や、県立図書館等での展示による広報を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点
土砂災害防止月間に合わせて、わかりやすい広報を心掛けて実施。

取組による効果
土砂災害警戒区域等の避難につながる情報発信と土砂災害に関する危機意識の醸成が図れた。

活用可能な制度等
—

R7取組事例 (京都府)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔 樹木伐採
河道の維持掘削、浚渫
『河川維持工事 ①伐木、②浚渫』 〕

【主な整備内容】

渋久川等



実施主体
担当部署

京都府山城南土木事務所
河川砂防課

R7年度
進捗状況:○

取組概要

京都府管理河川の伐木、浚渫等

取組内容の工夫点・課題・留意点

区間によっては作業用通路が無い等により、作業や搬出に要する費用が割高となり、実施数量が限られてしまう。

取組による効果

河川断面の確保

活用可能な制度等

—

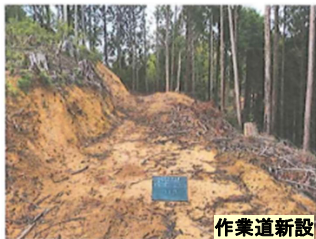
■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔 森林の整備・保全
間伐等の森林整備
『森林整備の実施による、森林が有する浸透・保水機能等の維持・向上』 〕

【主な整備内容】

○森林整備事業 間伐
(南山城村童仙房葎屋外)



実施主体
担当部署

京都府農林水産部
林業振興課

R7年度
進捗状況:○

取組概要

森林整備の実施により、森林が有する浸透・保水機能等の維持を行う。

取組内容の工夫点・課題・留意点

工事箇所に隣接する鉄道施設への配慮等、関係機関との調整し施工を行った。

取組による効果

・水源かん養機能の向上

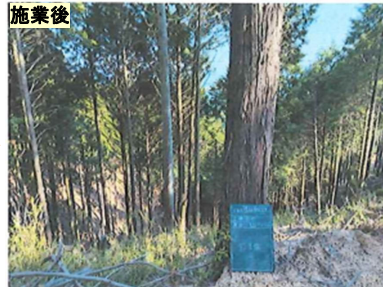
活用可能な制度等

特になし

作業前



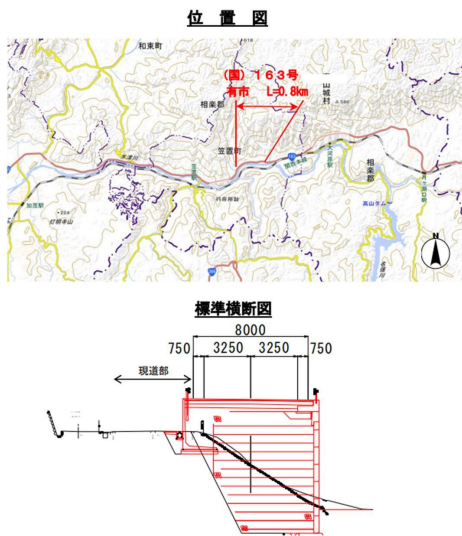
作業後



■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 (円滑かつ迅速な避難に資する施設のハード整備
 「道路の嵩上げ」)

【実施状況】



冠水時の状況



現在の状況



実施主体
 担当部署

京都府建設交通部
 道路建設課

R7年度
 進捗状況:○

取組概要

第1次緊急輸送道路である国道163号について、木津川に平行する本事業区間は、増水時に冠水が発生することから、道路嵩上げすることで災害時の道路ネットワーク確保を図るもの。

取組内容の工夫点・課題・留意点

非出水期での施工となるため、1年でできる工事量に限度がある。引き続き、計画的に工事を進めていく。

取組による効果

緊急輸送道路の浸水頻度が減少し、緊急輸送道路の信頼性が向上する。

活用可能な制度等

特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 (要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進)

『避難訓練の実施』

【説明時の様子】



【訓練時の様子】



実施主体
 担当部署

京都府建設交通部
 砂防課

R7年度
 進捗状況:○

取組概要

笠置保育所が実施した避難訓練に京都府も参加し、土砂災害の概要や土砂災害危険度の入手方法、周辺道路の異常気象時通行規制について、施設長や職員に説明した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

笠置町役場と協働で取り組み、土砂災害の危険性について府から説明するとともに、避難体制への支援について市から説明され、警戒避難体制の確認ができた。

取組による効果

避難計画に基づく訓練を実施することでより円滑かつ迅速な避難につながる。

活用可能な制度等

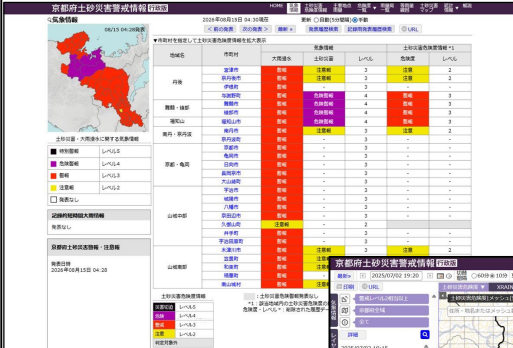
特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 土砂災害警戒情報の発信、
 - 土砂災害警戒情報システムの高度化
- 『京都府土砂災害警戒情報の更新』

新しい防災気象情報(本対応)



気象情報の発表区に合わせて予報区を表示変更

気象情報の名称変更

実施主体 担当部署	京都府建設交通部 砂防課	R7年度 進捗状況:○
--------------	-----------------	----------------

取組概要
 土砂災害警戒情報の発信
 土砂災害警戒情報システムの高度化
 (継続実施)
 土砂災害警戒区域の指定

取組内容の工夫点・課題・留意点
 スマートフォンでも情報を入手できるため、より手軽にどこでもリスク情報にアクセスできる。

取組による効果
 R8年度の出水期から運用される新しい気象体系にも対応していくことで、市町村の避難指示や、住民の自主避難の参考情報として、分かりやすく有用なシステムとして期待できる。

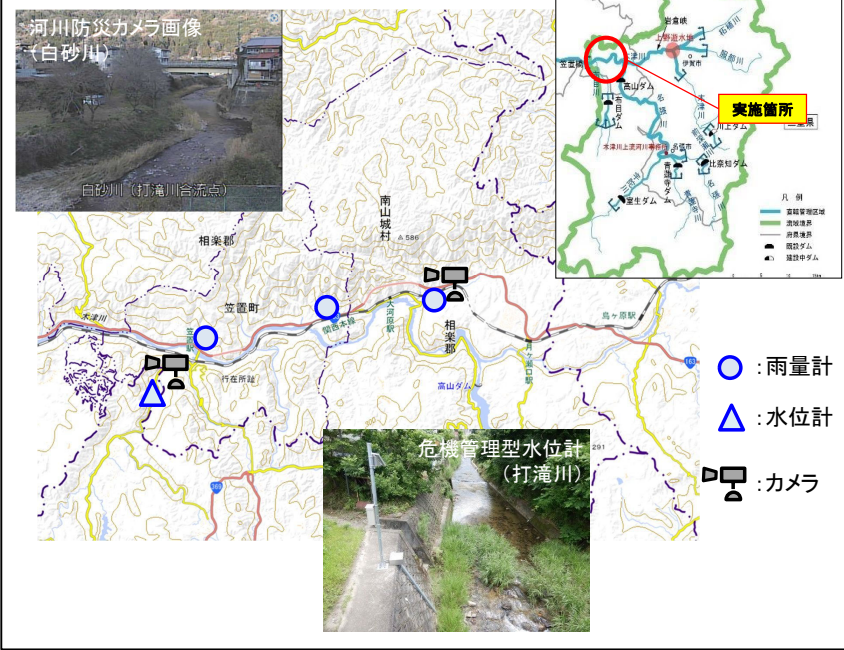
活用可能な制度等
 特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:京都府】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水位計・簡易カメラ・浸水センサー等の拡充・閲覧周知
- 『設備(水位計・簡易カメラ・浸水センサー等)の設置、更新』

【観測設備設置位置図】



実施主体 担当部署	京都府建設交通部 砂防課	R7年度 進捗状況:○
--------------	-----------------	----------------

取組概要
 観測設備を整備
 雨量計 3箇所
 水位計 1箇所(危機管理型)
 カメラ 2箇所

取組内容の工夫点・課題・留意点
 増設するには今まで以上に予算の確保が必要。

取組による効果
 洪水時のリアルタイム情報を提供することにより、円滑かつ迅速な避難につながる。

活用可能な制度等
 特になし

R7取組事例 (奈良県)

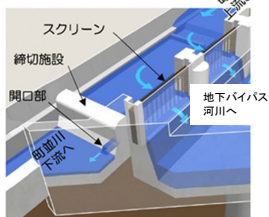
■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:奈良県】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 (河川整備計画に基づく河川改修の実施
 バイパス水路整備
 『町並川地下バイパス河川の整備』)

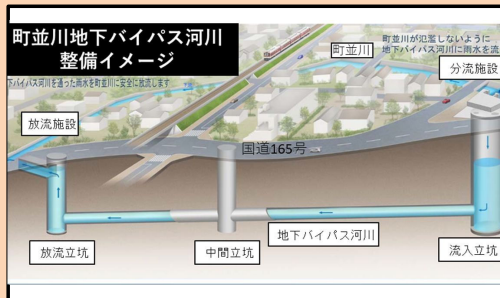
【主な整備内容】



- 地下バイパス河川が必要になった経緯
 浸水常襲地域となっている一方で、川沿いに住宅が連担しており、河道拡幅による整備が困難なため、地下バイパス河川により治水安全度を向上
- 工事の流れ
 立坑工事(放流、中間、流入、仮設)
 ↓
 推進工事(放流⇔中間)
 推進工事(中間⇔流入)
 ↓
 分流施設工事←現在実施中
 監視設備設置
 ↓
 完成



分流施設イメージ図



町並川地下バイパス河川整備イメージ

実施主体 担当部署	奈良県県土マネジメント部 河川整備課	R7年度 進捗状況:○
--------------	--------------------	----------------

取組概要
 住民の方々や学識経験者の意見を踏まえて作成した「淀川水系(奈良県域)河川整備計画」に基づいた改修工事の実施を行っている。
 町並川では河道拡幅が困難な箇所、地下バイパス河川の整備を行っている。

取組内容の工夫点・課題・留意点
 川沿いに歴史的な町並みが形成されており、河道拡幅が困難なため、地下バイパス河川の整備で治水安全度を確保。

取組による効果
 供用に向け、現在工事を行っている。
 供用開始が始まれば、河川整備計画に基づく治水安全度が確保される。

活用可能な制度等
 特になし。

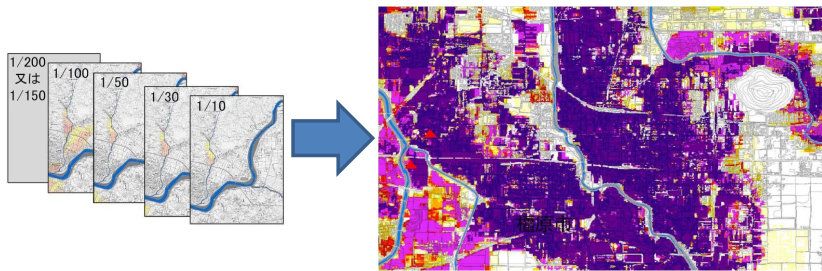
■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:奈良県】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

〔 水害リスクマップの作成・周知
『水害リスクマップの作成』 〕

【実施状況】

○流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150又は1/200の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたもので、降雨の発生頻度ごとに異なる浸水範囲を視覚的に確認することができる、「水害リスクマップ」をR7年度作成中。



多段階の洪水浸水想定図

水害リスクマップ

高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎(年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150又は1/200)に作成した浸水想定図。

多段階の浸水想定図を重ね合わせ、浸水深毎(0.0m以上、0.5m以上(床上浸水)、3.0m以上(1階居室浸水))に、その高さの浸水が発生する頻度を表した図面。

実施主体 担当部署	奈良県県土マネジメント部河川整備課	R7年度 進捗状況:★
--------------	-------------------	----------------

取組概要

流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150又は1/200の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたもので、降雨の発生頻度ごとに異なる浸水範囲を視覚的に確認することができる、「水害リスクマップ」をR7年度作成。R8年5月頃意見照会し、6月頃公表予定。

取組内容の工夫点・課題・留意点

10～50年に1度の雨量という、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた浸水想定図を作成し重ね合わせているため、従来のハザードマップと比べてより身近な規模の災害リスクをカバーしている。

取組による効果

土地利用や住まい方の工夫、市町村の水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討への活用に期待できる。

活用可能な制度等

特になし

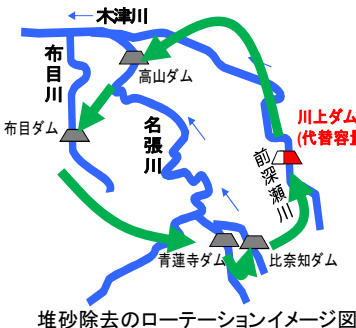
R7取組事例 (水資源機構)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:水資源機構】

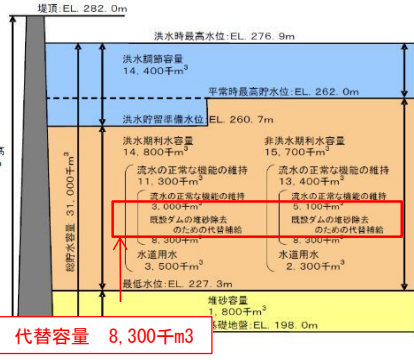
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 〔 既設ダムの機能維持
① 既設ダムの堆砂除去 〕

【主な整備内容】



堆砂除去のローテーションイメージ図



代替容量 8,300千m³



高山ダム直下流の置土(土砂還元)



比奈知ダムでの堆積土砂除去工事の状況

実施主体 担当部署	木津川ダム総合管理所	R7年度 進捗状況:○
取組概要 木津川上流ダム群(室生ダムを除く)の土砂管理について、川上ダムの代替容量を利用し、木津川上流ダム群でローテーションを組み、各ダムの貯水位を低下させ堆積土砂の陸上掘削を行うことにより、ライフサイクルコストを低減する。		
取組内容の工夫点・課題・留意点 堆砂除去により発生した砂は、ダム下流への土砂還元や地域貢献として公共事業への転用や民間企業との連携により有効活用を図ることとなっているが、それらを実現するための検討、調整。		
取組による効果 ・堆砂除去による貯水池内のリフレッシュ(有効容量のアップ) ・陸上掘削によるライフサイクルコストの低減		
活用可能な制度等 —		

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:水資源機構】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 〔 利水ダムにおける事前放流の実施、体制構築
② ダムの事前放流の実施 〕

【主な整備内容】

R7年度は事前放流の実施条件に該当する降雨がなかったため、実績なし。

実施主体 担当部署	木津川ダム総合管理所	R7年度 進捗状況:○
取組概要 既設5ダムにおいては、令和3年度までに治水協定に基づく事前放流実施要領を策定済み。川上ダムも試験湛水終了後に策定予定。R7年度は事前放流の実施条件に該当する降雨がなかったため、実績なし。		
取組内容の工夫点・課題・留意点 確実な事前放流を実施するためには、降雨予測の精度向上を図る必要がある。		
取組による効果 事前放流により出水前に貯水位を低下させることが可能であり、治水機能の向上が図られる。		
活用可能な制度等 —		

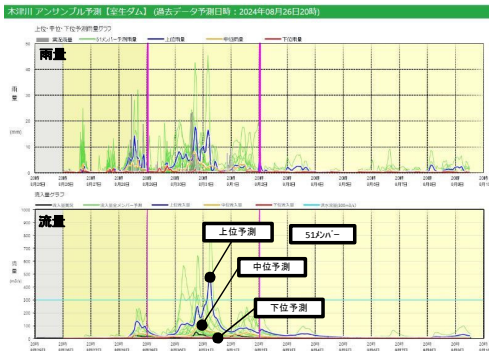
■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:水資源機構】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

効果的な事前放流の実施(予測精度の向上)

①予測精度の向上

【主な整備内容】



概略【空生ダム】2024年08月26日23時21分更新 (過去データ表示中)

空生ダム	アンサンブル予測			ガイダンス予測	アンサンブル予測			アンサンブル予測		
	上位	中位	下位		上位	中位	下位	上位	中位	下位
最大48時間雨量	100.7mm	47.5mm	10.0mm	27.4mm						
110mm/48h超過	1 (1.2%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
270mm/48h超過	0 (0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最大流入量	136.1m³/s	27.9m³/s	4.2m³/s	12.4m³/s	11.6m³/s	102.6m³/s	95.9m³/s	10.5m³/s	21.7m³/s	21.2m³/s
12m³/s超過	33 (65%)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30m³/s超過	0 (0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下名流7.0m³/s超過	0 (0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
295.0m³/s超過(ただし、重要施設)	0 (0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空生ダム貯留水位(4.2m)	47 (92%)	1	1	1	51 (100%)	51 (100%)	51 (100%)	46 (90%)	51 (100%)	51 (100%)
空生ダム貯留水位(0.5m)	27 (72%)	1	1	1	51 (100%)	51 (100%)	51 (100%)	46 (90%)	51 (100%)	51 (100%)
空生ダム貯留水位(0.3m)	33 (65%)	0	1	1	50 (98%)	50 (98%)	50 (98%)	43 (84%)	43 (84%)	43 (84%)
空生ダム洪水調節容量	0 (0%)	0	0	0	17 (33%)	17 (33%)	17 (33%)	1 (2%)	1 (2%)	1 (2%)

※(予測名の欄)にマウスを移動させると、上中下位の判定方法が表示されます。

アンサンブル予測の表示画面

実施主体
担当部署

木津川ダム総合管理所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

事前放流をより効果的に行うため、長時間先降雨予測であるアンサンブル技術を導入し、事前放流の高度化(早期判断、放流量の合理化)を目指している。

取組内容の工夫点・課題・留意点

事前放流の基準降雨量の超過や洪水調節に至る雨の経験が不足しており、傾向にばらつきがあるため、引き続き事例収集に努める必要がある。

取組による効果

- ・ダム下流河川利用者の安全確保(少量のダム放流での対応が可能になる)
- ・貯留水の有効活用(発電放流設備からの放流)

活用可能な制度等

—

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:水資源機構】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

ダムの防災操作や放流連絡体制の周知(地域住民へ避難の必要性やダム警報局スピーカーの周知)

①ダムの防災操作や放流連絡体制の周知



洪水対応演習の様子 (R7.6)



青蓮寺・室生・比奈知ダム放流連絡会 (R7.6)



高山ダム放流連絡会 (R7.6)

実施主体
担当部署

木津川ダム総合管理所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

洪水対応演習および住民参加型訓練を実施し、避難の必要性や警報局スピーカーの周知を行った。防災連絡会ではダム防災操作の説明、放流連絡体制の周知を行った。

取組内容の工夫点・課題・留意点

毎年繰り返し周知をすることで、ダム操作に対するより一層の理解を得ることができる。

取組による効果

事前にきちんと説明、周知を行うことで、洪水時や緊急時などもスムーズなやりとりをすることができる。

活用可能な制度等

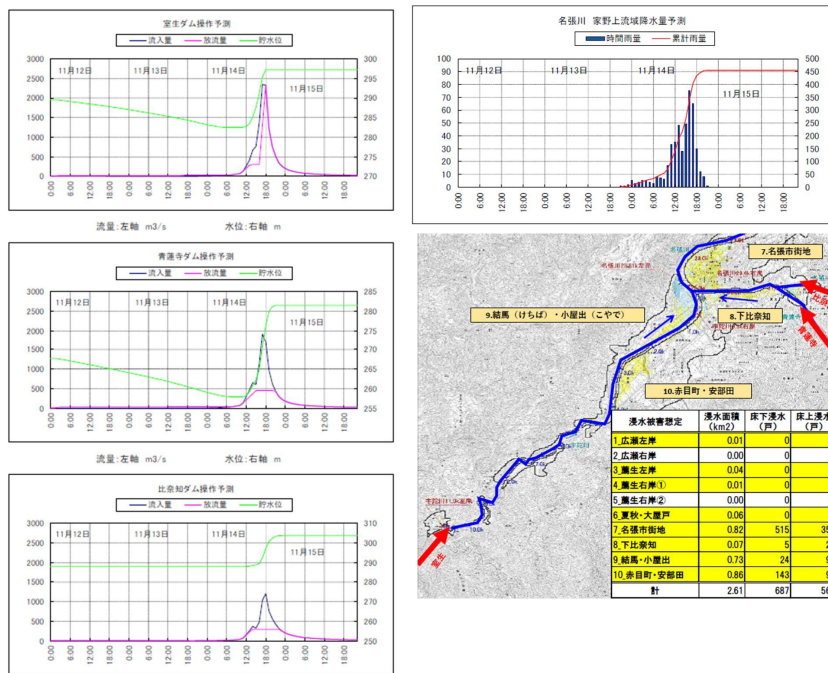
—

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:水資源機構】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

（関係機関が連携した情報伝達訓練の実施

① 関係機関が連携した情報伝達訓練の実施



訓練シナリオに基づき作成した想定資料(ハイドログラフ・降雨予測・浸水想定)

実施主体 担当部署	木津川ダム総合管理所	R7年度 進捗状況:△
取組概要 名張市が主催する防災訓練に参加		
取組内容の工夫点・課題・留意点 関係自治体が主催する訓練には積極的に参加し、関係自治体との連携の強化を図る。		
取組による効果 市内の浸水被害の状況及び対策について、情報共有と連携を図ることができる。		
活用可能な制度等 —		

R7取組事例 (津地方気象台 奈良地方気象台)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:津地方気象台・奈良地方気象台】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信を実施

『令和8年度からの新たな防災気象情報の運用開始に向けてのシステム改修や周知広報』

【実施状況】 新しい防災気象情報 (R8出水期から運用開始予定) 国土交通省

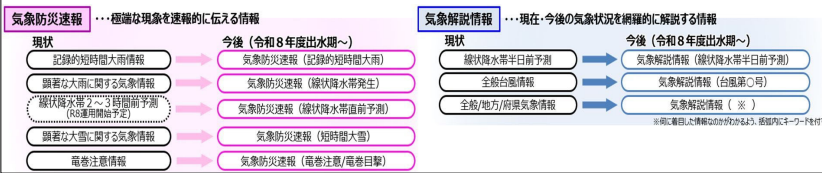
- 防災気象情報 (大雨、河川氾濫、土砂災害、高潮) を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。** (例: レベル4大雨危険警報 等)
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。(レベルの数字で、とるべき行動が分かる！)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	河川氾濫 1級河川以外の 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩壊や 土石流	高潮 海水高の上昇や 高波による浸水	住民が とるべき行動
レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!>				
レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
レベル1	早期注意情報			災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。



実施主体 担当部署	気象庁	R7年度 進捗状況:★
--------------	-----	----------------

取組概要
令和8年度の出水期から、防災気象情報が名称を含め大幅に変更されることに伴い、システム改修や調整、自治体・住民への周知広報を行っている。

取組内容の工夫点・課題・留意点
・対象災害ごとの情報名称に変更するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設、注意報・警報にはレベルの数字を付けて発表することとする。
・気象情報については、「速報」と「解説」の2種類に分類して提供する。

取組による効果
・すべての注意報・警報にレベルが付いて発表されることにより、とるべき防災行動との関係が明確になる。
・気象情報へのアクセスの改善につながる。

活用可能な制度等
—

R7取組事例
(国立研究開発法人
森林研究・整備機構
森林整備センター)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔 森林の整備・保全
間伐等の森林整備

〕
『植栽:19ha、下刈:12ha、除伐:16ha、間伐:40ha、更新伐8ha、枝払2ha』

【主な整備内容】

水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

実施主体
担当部署

近畿北陸整備局
奈良水源林整備事務所
津水源林整備事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な森林整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る。

取組内容の工夫点・課題・留意点

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、針広混交林の造成や誘導伐の実施により育成複層林化を推進。また、流木災害防止の観点から販売可能な間伐材等は搬出し有効利用を図る。

取組による効果

森林整備を計画的に実施することで、樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化によりピーク流出量の発生時間を遅らせるなど、保安機能の強化を図る。

活用可能な制度等

水源林造成事業

R7取組事例
(伊賀鉄道株式会社)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:伊賀鉄道株式会社】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 (橋梁点検に基づく維持管理)

【主な整備状況】

- ・令和7年4月21日～23日 除草作業実施
- ・令和7年4月24日 橋梁点検実施



実施主体 担当部署	鉄道営業部施設課	R7年度 進捗状況:○
--------------	----------	----------------

取組概要

伊賀線野間川橋梁の橋梁点検および河川占用範囲における樹木伐採、除草等による環境整備による保全対策の実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

許可工作物の健全度調査の実施や周辺整備により、河川の適正な維持管理を実施している。

取組による効果

周辺の美化清掃と健全度調査により、列車運行の安全とご乗車して頂くお客様や沿線の方に安心していただけるよう取組んでいる。

活用可能な制度等

特になし

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:伊賀鉄道株式会社】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 (水防訓練の実施)

【実施状況】

- 【実施日】 令和7年6月7日(土)23:15から8日(日)1:00
 【参加者】 伊賀市:2名
 伊賀市消防団:47名
 木津川上流河川事務所:6名
 伊賀鉄道:1名
 報道関係:3社



実施主体 担当部署	鉄道営業部施設課	R7年度 進捗状況:○
--------------	----------	----------------

取組概要

伊賀線第一陸間は、新居遊水地の周辺堤と伊賀鉄道が交差する箇所を設置した遊水地内に流入した洪水流を遊水地の外に氾濫することを防ぐ施設です。

国、伊賀市、伊賀市消防団、伊賀鉄道が連携した操作訓練を実施しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

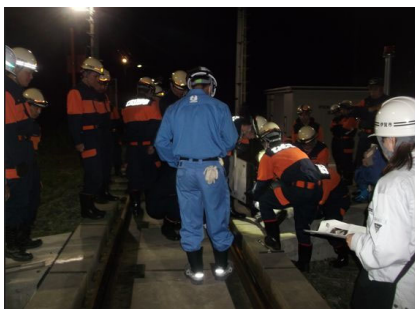
運用を開始した令和4年度は、日中に伊賀鉄道を一時的に運休(線路を閉鎖)して行いましたが、翌年からは、鉄道利用者に配慮し、列車運行が終了した夜間に実施しています。年1回実施することで、担当者の異動(交代)に対する備えや人材の育成に努めています。

取組による効果

関係機関が連携・協力した操作訓練を行うことで、役割や手順など必要な知識の再確認し、本番に備えることが出来ました。

活用可能な制度等

特になし



R7取組事例 (木津川上流河川事務所)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川改修

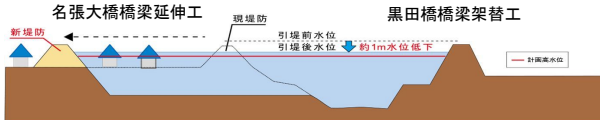
①築堤・護岸工 ②河道掘削 ③河道拡幅 ④橋梁架替

『名張川 名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(I期)』 名張川:名張市黒田地区/引堤河川改修(約100m)

【主な整備内容】



位置図



※引堤計画図とかまち計画図は、現時点の計画であり、今後詳細設計等を実施することにより内容を変更する場合があります。

実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------	----------------

取組概要

名張市街地の浸水被害の軽減を図るため、「名張かわまちづくり」と連携して引堤及び河道掘削を推進し、安全度の向上を図る。令和7年度は名張大橋、黒田橋上部工、築堤護岸工を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

今後、気候変動による外力の増大とそれ伴う水災害の激甚化や発生頻度の増加などの事象を想定し、対策を進めていく。

取組による効果

河川整備計画で目標としている昭和28年台風13号洪水の降水量を1.1倍とした洪水に対して、名張川・宇陀川合流点付近の水位を約1.9m低下させ、堤防からの越水を回避し、名張市街地の浸水被害を軽減する。

活用可能な制度等

特になし。

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

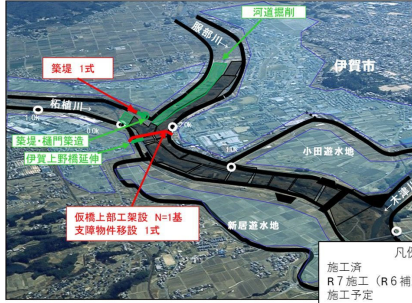
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川改修

- ①河道掘削 ②河道拡幅 ③橋梁架替

『上野遊水地事業』 服部川:三田地区 / 伊賀上野橋:仮橋上部工 柘植川:三田地区/築堤、

【主な整備内容】



実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------	----------------

取組概要

上野遊水地、川上ダムの運用開始を受け、伊賀地域のさらなる治水安定度向上のため河道掘削を実施。令和7年度は柘植川三田地区で築堤、伊賀上野橋仮橋上部工の施工を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

治水上の課題(内水への影響、上下流バランス、超過洪水への対応等)や維持管理、土地利用、自然環境への影響に留意が必要である。

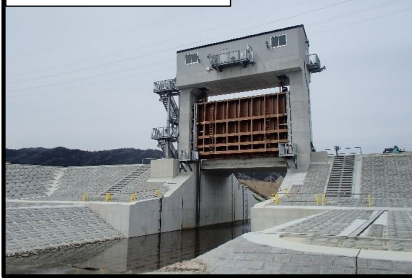
取組による効果

河道掘削の計画的に実施することで段階的に治水安全度を向上させて浸水被害を軽減させることができる。

活用可能な制度等

特になし。

令和6年4月2日撮影



浅子川水門

令和7年2月5日撮影



伊賀上野橋 仮橋上部工

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

1. 環境学習関係

- ①環境学習関係

『名張市の桔梗が丘南小学校で出前講座を実施』

【開催概要】

○日 時: 令和7年8月5日

○参加機関: 名張市立桔梗が丘南小学校児童クラブ
(小学1~6年生 26名)

- 内 容: ①簡易水質検査(パケットテスト)
②水生生物の観察について
(川で石についた水生生物を採取し、教室に持ち込み観察を実施)

位置図



実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------	----------------

取組概要

毎年、治水・防災・環境をテーマに、木津川上流河川事務所管内の小学校で出前講座を実施している。令和7年度は桔梗が丘南小学校で環境をテーマに出前講座を開催した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

1~6年生の児童を対象に興味を持ってもらうよう、簡易水質検査(パケットテスト)水生生物の観察を実際に体験していただき、水環境への興味を持ってもらいました。

取組による効果

子供たちは初めて見るパケットテストや水生生物に大興奮で、楽しみながら理解してもらった。

活用可能な制度等

特になし。



パケットテストに挑戦!



見つけた生き物をスケッチ

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

1. 小中学校等における水災害教育の実施、2. 環境学習関係
 - ①小中学校への出前講座の実施
 - ②環境学習関係
- 『市民夏のにぎわいフェスタ2025で防災・環境啓発活動の実施』

【開催概要】

- 日 時: 令和7年8月23日(土)
 ○場 所: 「市民夏のにぎわいフェスタ2025」
 (銀座通り)
 ○参加者: 延べ約300名

- 内 容: ①照明車展示
 ②上野遊水地 10周年のPR
 ③川のいきものふれあいコーナー
 ④防災アニマル診断



実施主体
担当部署

木津川上流河川事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

伊賀市にて開催の「市民夏のにぎわいフェスタ」に木津川上流河川事務所としてブースを出展。自身の防災意識について診断し、防災知識を学習できる「防災アニマル診断」の実施と、毎年大人気の「川のいきものふれあいコーナー」の設置、照明車の展示を行った。

取組内容の工夫点・課題・留意点

河川事務所独自のイベントではなく、地元民から愛される川とは無関係の行事に参加することで、普段川に興味が無い方にも川に触れてもらい防災や流域治水を「知る」機会とした。

取組による効果

診断の結果、防災意識が比較的低い方に多くブースに来場いただいたことが分かった。また祭りを利用することで親子連れに多く来場いただけた。
 防災や環境に興味を持った反応も見られた。

活用可能な制度等

特になし。

防災アニマル診断の様子



照明車展示の様子



川のいきものふれあいコーナーの様子



■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

1. 水害リスクの周知
 - ①内外水リスクマップの作成・周知
- 『内外水リスクマップの作成』

- 国土交通省では、流域治水の取り組みを推進するため、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた 防災まちづくりの検討及び企業の立地選択に活用出来るよう、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の 降雨規模毎に作成した浸水想定図(「多段階の浸水想定図」と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」を作成している。
 ○これに加えて、主要河川以外の支川や内水氾濫による浸水リスクを示す内外水統合型のリスクマップを作成することとしており、現在作成中。

実施主体
担当部署

木津川上流河川事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

国土交通省では、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえ 防災まちづくりの検討及び企業の立地選択など、流域治水の取り組みを推進するため、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した浸水想定図(「多段階の浸水想定図」と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」を作成・公表することとしました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

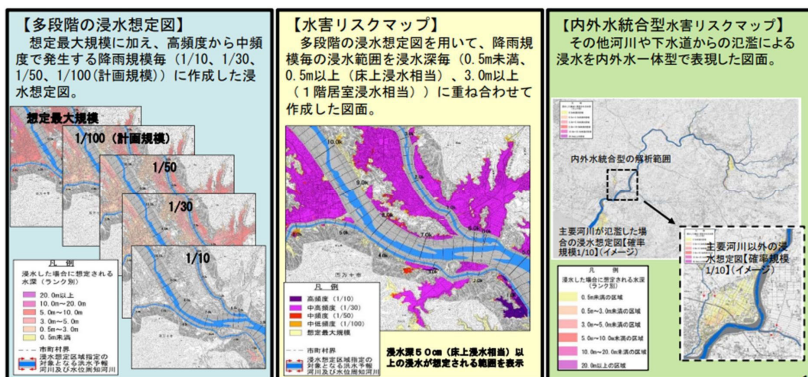
内外水統合型リスクマップは、河川毎ではなく、地点毎の浸水頻度を表示できる。

取組による効果

地点毎の浸水頻度を表示できることにより、中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討への活用に期待できる。

活用可能な制度等

特になし。



■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト :木津川上流河川事務所、伊賀市】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

1. マイ・タイムラインの作成
①マイ・タイムライン作成支援のワークショップの開催
2. 防災リーダー育成の支援を実施
②防災リーダー育成の支援を実施

『伊賀市においてマイ・タイムライン講習会を実施』

【開催概要】

日時: 令和8年2月7日(土)
場所: 伊賀市ゆめぼりすセンター2階大会議室
参加者: 伊賀市住民 35名
講師: 気象キャスター 親見麗菜氏
(流域治水アンバサダー、気象予報士、防災士)
気象キャスター 土井邦裕氏
(流域治水アンバサダー、気象予報士、防災士)
内容: ①「伊賀市防災・情報アプリ」の登録案内について
②最近の気象災害と情報について
③マイ・タイムライン作成講習



実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所 伊賀市	R7年度 進捗状況:○
--------------	-------------------	----------------

取組概要

近年の災害傾向や地域の特徴など知識を得ながら、自分自身の家族構成や生活環境にあわせた、オリジナルの「マイ・タイムライン」の作り方や地域に広めるためのポイントなどを確認することを目的として講習会を開催。

取組内容の工夫点・課題・留意点

国土交通省は「流域治水」の情報発信を狙い、テレビやラジオに出演する気象キャスター35人を「流域治水アンバサダー」に委嘱しており、今回、その中から講師をしていただいた。講習会の間には、キャスターとの会話を楽しめる参加者も複数見られた。

取組による効果

「マイ・タイムライン」をつくっておくことで自分の住んでいる地域の災害リスクや避難所の場所を把握することができ、防災力の向上に繋がる。

活用可能な制度等
特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等
水害リスクの高い箇所共同点検

『構成機関を対象とした重要水防箇所共同点検の実施』

【開催概要】

- 日時: 令和7年10月20日(名張川筋) 9:00~11:45
(木津川筋) 13:00~16:40
○参加機関: 名張市・宇陀市・伊賀市・笠置町・南山城村・奈良県・伊賀建設事務所・(独)水資源機構 木津川ダム総合管理所・紀伊山系砂防事務所



実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------	----------------

取組概要

重要水防箇所とは洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所を示したもので、関係者が予め熟知しておくことでより早く適切な水防活動を行うため、合同で現地確認を実施した。

取組内容の工夫点・課題・留意点

昨年に引き続き、合同点検にて最新の重要水防箇所に基づく洪水に対しリスクの高い区間を現地で確認し、洪水時の越水対策として、土のう等による水防活動を行う必要性を共通認識しました。

取組による効果

合同点検を実施することで、関係機関が連携しながら洪水時の水防活動や住民避難活動について再認識し本番に備えることができる。

活用可能な制度等
特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

関係機関が連携した実働水防訓練の実施
水防訓練の実施

『伊賀線第一陸閘の操作訓練を実施』

【開催概要】

- 日 時: 令和7年6月7日(土) 23:15～8日(日) 1:00
- 場 所: 伊賀鉄道新居駅
- 参加者: 木津川上流河川事務所 6名
伊賀市 2名
伊賀鉄道株式会社 1名
伊賀市消防団 47名
その他 報道関係 3社



実施主体
担当部署

木津川上流河川事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

伊賀線第一陸閘は、新居(にい)遊水地(上野遊水地の4つある遊水地の一つ)の周囲堤と伊賀鉄道が交差する箇所に設置した遊水地内に流入した洪水流を遊水地の外に氾濫することを防ぐ施設です。
国、伊賀市、伊賀鉄道株式会社、伊賀市消防団と連携した操作訓練を実施しました。

【訓練状況】



陸閘閉鎖(水密板の設置)



陸閘閉鎖(ゲート閉鎖)

取組内容の工夫点・課題・留意点

運用を開始した令和4年度は、伊賀鉄道を一時的に運休し、日中に行いましたが、翌年度からは、鉄道利用者に配慮し、伊賀鉄道の運行が終了した夜間に実施している。

取組による効果

関係機関が連携した操作訓練を行うことで、役割や手順など必要なことをそれぞれが確認し、本番に備えることができました。

活用可能な制度等

特になし

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

グリーンインフラに対する取り組み

自然環境の保全・復元などの自然再生
縦横断連続性の再生

『「なまず遡上作戦2025」を実施』

【開催概要】

- 日 時: 令和7年5月12日
- 場 所: 名張川左岸支川留い川合流付近
- 参加者: 川から田んぼへ魚の道を作る会 44名
(河川協力団体NPO、名張市、(独)水資源機構、木津川ダム総合管理事務所、木津川上流河川事務所)
錦生赤目小学校 小学4年生 28名、
赤目滝水族館 4名、



実施主体
担当部署

木津川上流河川事務所

R7年度
進捗状況:○

取組概要

2021年より毎年、名張市内のNPOと協力して名張川と名張川の支川「留い川(とめいがわ)」の合流部で土のうや石を使用した簡易魚道を設置しています。今年も地元の小学生28名が参加しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

活動中は小学生も、スタッフの助言をうけ、土のう製作に参加しました。また、活動前後に出前講座を実施し、治水・環境についてわかりやすく説明しました。

取組による効果

簡易魚道をつくり、なまずの遡上・産卵を助ける活動を通じて参加された小学生には、水防工法や名張かわまちづくりについて学んでもいただきました。これが機会となり防災・減災に意識してもらえるようになりました。

活用可能な制度等

特になし

【活動中の様子】



土のう製作体験



魚道作成中

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:木津川上流河川事務所】

グリーンインフラに対する取り組み

インフラツーリズムとの連携
啓発イベントの実施

『上野遊水地運用開始10周年記念「上野遊水地フェスティバル」を実施』

【開催概要】

- 日時：令和7年12月6日(土)10:00~16:00
- 場所：木興遊水地
- 主催：木津川上流河川事務所
- 後援：伊賀市
- 出演者：木津川上流河川事務所、伊賀市、伊賀市立
緑が丘中学校、愛農学園、羅威堂、いがぐり
オ、ちよいまる、東海農政局 など
- 来場者：伊賀市、伊賀市下流域の市町村の沿川住民



【活動中の様子】



フォトブース



災害対策車



熱気球



マイクラフト
上野遊水地ワールド



ドローン体験



遊水地ウォーキング

実施主体 担当部署	木津川上流河川事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------	----------------

取組概要

上野上野遊水地がR7に10周年を迎えたことを踏まえ、地元イベントを上野遊水地内で実施。遊水地の役割や効果について楽しく学んでいただけるよう、熱気球体験やウォーキング、ゲームでの疑似体験などを実施。下流の住民にも認知いただくためバスツアーを実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

地元の上野遊水地活用に関することへの期待、来場者に遊水地そのものを感じて頂きたいという思いから、式典ではなく地域イベントとしての開催とした。

遊水地内の農業活性化を狙い、農業高校や農業振興課等への出展も依頼。

取組による効果

上野遊水地の役割、効果の認知によりこれからの維持管理活動への理解促進、防災意識啓発に繋がる。

活用可能な制度等

なし

R7取組事例
(紀伊山系砂防事務所)

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:紀伊山系砂防事務所】

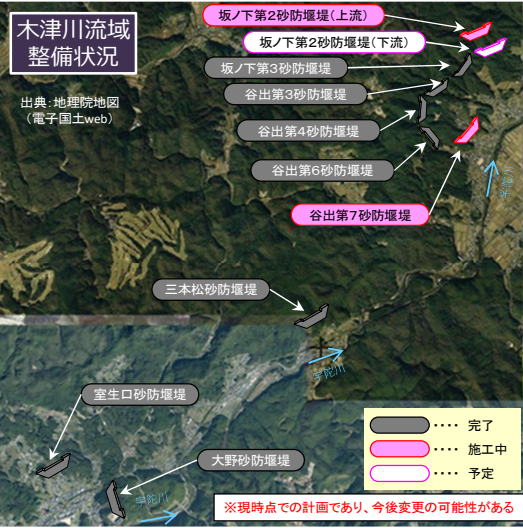
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔砂防堰堤〕

『木津川水系に流入する土砂流出抑制による土砂・洪水氾濫対策』
『砂防堰堤の整備』

【主な整備状況】

坂ノ下第2
砂防堰堤(上流)
(三重県名張市)



谷出第7砂防堰堤
(三重県名張市)



実施主体 担当部署	紀伊山系砂防事務所 工務課	R7年度 進捗状況:○
--------------	------------------	----------------

取組概要

木津川水系における直轄砂防事業では、昭和34年9月の伊勢湾台風をはじめ、台風や集中豪雨等により山腹崩壊や土石流災害が発生しており、継続して砂防施設を整備している。

さらに、近年、全国で大きな被害をもたらしている土砂・洪水氾濫へ対応するための、施設整備を進めるほか、施設の適切な状況把握に基づく補修を推進。

取組内容の工夫点・課題・留意点

令和5年度完成した三本松砂防堰堤について、一般の方により砂防施設に関心を持っていただくことを目的に、砂防カードを作成。

取組による効果

木津川水系における土砂流出に起因する土砂・洪水氾濫被害および土石流・流木被害から国民の生命・財産および重要交通網等の社会基盤の保全を図る。

活用可能な制度等

特になし

■ 対策事例 【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト:紀伊山系砂防事務所】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

〔広報活動の実施〕

『小中学校における土砂災害教育の実施』
『宇陀市の小学校で出前講座を実施』

【実施状況】

▼土砂災害についての授業中!



<開催日> 令和7年11月21日(金)13:40~15:30
<開催場所> 榛原西小学校(奈良県宇陀市榛原下井足1061)
宇陀市立 農林会館(奈良県宇陀市榛原下井足825)
榛原西小学校4~6年生 計41名

▼災害の時に活躍する車両たちを実際に見て触れて体験しました!

照明車



対策本部車



実施主体 担当部署	宇陀市建設課 紀伊山系砂防事務所 調査課 近畿技術事務所	R7年度 進捗状況:○
--------------	---------------------------------------	----------------

取組概要

宇陀市建設課および近畿技術事務所と合同で、榛原西小学校の生徒を対象に、土砂災害及び防災についての出前講座を開催

取組内容の工夫点・課題・留意点

ハザードマップを使って、避難所と自宅の位置、警戒区域の確認や模型を使った砂防堰堤の仕組みや災害時に活躍する車両展示など、子供達ができるだけ関心を持てるように説明を行った。

取組による効果

自治体と連携し、小学校等で防災に関する出前講座を行うことで、土砂災害について自分事化し、防災意識の向上につなげる。

活用可能な制度等

特になし

R7取組事例

(特定非営利活動法人 奈良県防災士会)

■対策事例【淀川水系(木津川上流分会)流域治水プロジェクト：奈良県防災士会】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

〔 広報活動の実施 〕

『自主防災会や自治会、行政に対して、災害への備えの講演やアドバイスを実施』

『メディア出演による防災啓発と広報活動』

【主な整備内容】

・防災・減災についての知見を向上させるため

- ① 各自治体・公共団体などの講座、講演会、研修会、子供教室などに出席することで知見を広める
- ② 防災訓練、救出訓練などを体験学習させることで自分事としての体験を積ませる
- ③ 災害地へ災害ボランティアとして出かけ、現地の被害状況を体感する、更には体験報告をすることで、自分事化を後押しさせる
- ④ 県の防災に関するリーダー養成を支援して、人材育成を進めている
- ⑤ 奈良地方気象台に協賛して、お天気フェアを開催
- ⑥ NHKラジオ番組に出演

などの活動をしています。

実施主体
担当部署

奈良県防災士会

R7年度
進捗状況:○

取組概要

防災講演・訓練、活動報告、メディア出演
などの広報活動

取組内容の工夫点・課題・留意点

取組による効果

防災減災に対する貢献

活用可能な制度等